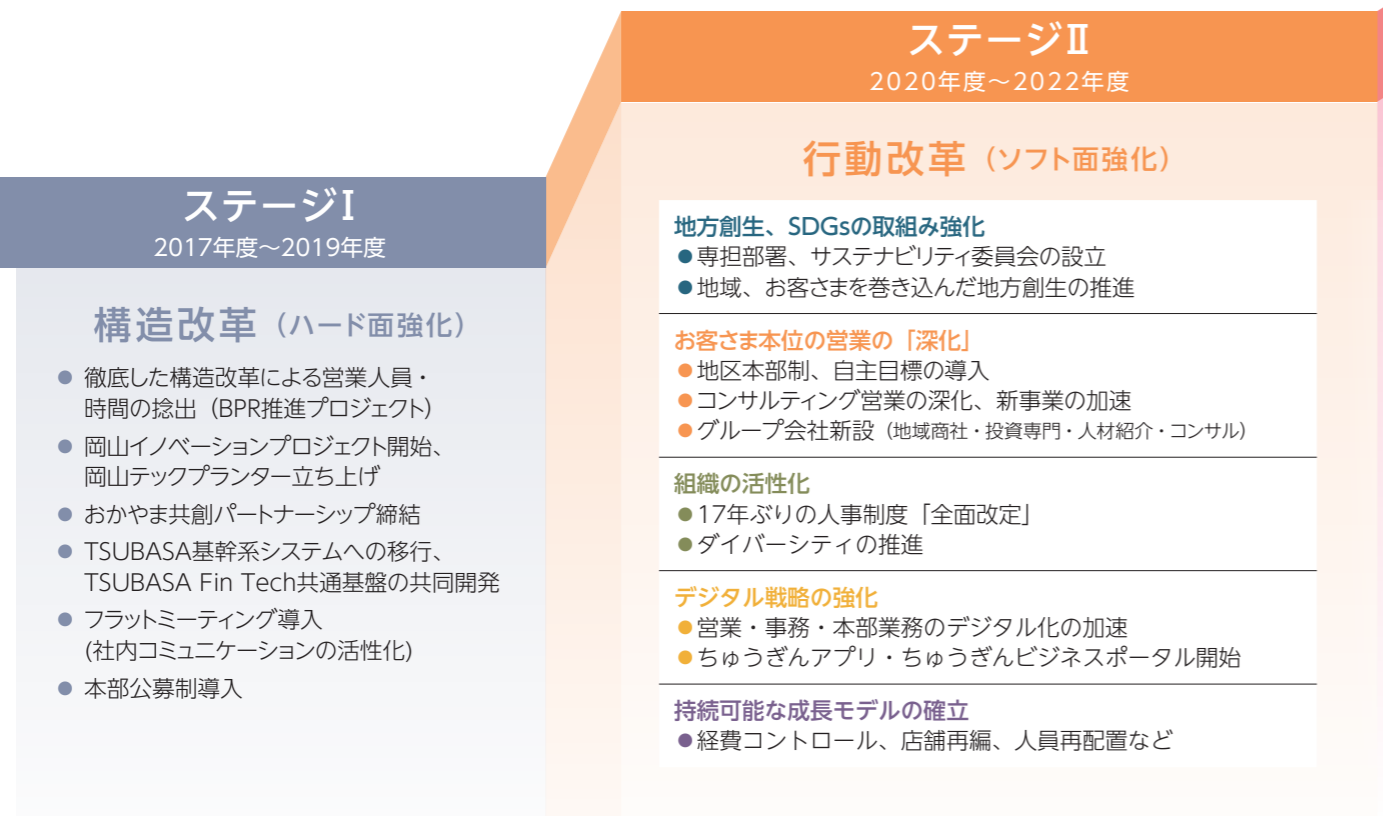


# 長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

## 地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を 共創する

2017年3月に、期間10年の長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』を策定しました。人口減少等の社会環境の変化に打ち克ち、当社グループだけではなく地域やお客さま、従業員と豊かな未来を分かち合うための持続的なビジネスモデル構築を目指すものです。

期間4年の現中期経営計画は、この長期経営計画のステージⅢにあたります。



ステージⅡのKPI振り返り

ステークホルダー	KPI	2022年度目標	2022年度実績
地域社会	SDGsに資する地域課題取組み件数	持続的向上	持続的向上
	① 創業支援先数 <sup>*1</sup> および事業承継支援先数 <sup>*2</sup> の合計	3年間累計200先	3年間累計222先
	② 金融リテラシー向上等に資する活動 <sup>*3</sup>	持続的向上	3年間累計 805件 16,000名以上の受講
お客さま	お客さま満足度 <sup>*4</sup> （個人・法人）	持続的向上	2022年度 法人アンケート 満足度69% 2021年度 個人アンケート 満足度65%
従業員	人件費支払前コア業務純益における労働分配率 <sup>*5</sup>	54%以上	44%
株主外 （全ステークホルダー）	親会社株主に帰属する当期純利益	150億円	204億円
	連結総自己資本比率（バーゼルⅢ）	12%安定維持	12.87%
	連結ROE	—	3.79%

※1 創業支援先数 … 中国銀行が開催する創業支援イベント等により、創業した先数  
 ※2 事業承継支援先数 … 事業承継コンサルティングサービス受託先数  
 ※3 金融リテラシー向上等に資する活動 … 金融リテラシー、ビジネススキル等の向上に資する各種イベント・勉強会等の開催件数  
 ※4 お客さま満足度 … お客さまアンケート「満足」「やや満足」の合計  
 ※5 人件費支払前コア業務純益における労働分配率 … 人件費÷(コア業務純益+人件費)



ステージⅢのKPI

選定のねらい	財務KPI	2022年度実績	2026年度目標
収益性	親会社株主に帰属する当期純利益	204億円	300億円
資本効率性	ROE	3.79%	5%以上
健全性	総自己資本比率	12.87%	11%～13%

マテリアリティ	成長戦略	サステナビリティKPI	2022年度実績	2026年度目標
環境経営の促進	地方創生SDGsの「深化」	CO <sub>2</sub> 排出量削減	30年度カーボンニュートラル <sup>*1</sup>	
		サステナブルファイナンス累計実行額 <sup>*2</sup>	6,418億円	1兆円
地域経済・社会の活性化	地方創生SDGsの「深化」	コンサルティング受託件数 <sup>*3</sup>	256件	460件
少子高齢化社会への対応		預り5商品保有先数および住宅ローン先数	206千先	260千先
DXの推進	グループ経営基盤の強化	相関関連業務取扱件数 <sup>*4</sup>	487件	800件
		業務モデル変革（業務・チャネル・組織）	—	（定性評価）
多様な人材の活躍推進	グループ経営基盤の強化	女性管理・監督者比率（銀行単体）	13.4%	25%
		人的資本投資額 <sup>*5</sup>	3億円	5億円

※1 2030年度末までにScope1（ガス、ガソリン、軽油などの燃料消費を通じた直接排出量）、Scope2（他社から供給された電気、熱などの使用に伴う間接排出量）のネットゼロ達成  
 ※2 対象となる投資融資は、社会分野（医療・介護・保育、教育（ほか））・環境分野（太陽光、風力、バイオマス、EV（ほか））のファイナンスに加え、地方創生やSDGs/ESGの取組支援を含む20年度からの実行額  
 ※3 事業承継・環境関連等の年間コンサルティング契約受託件数  
 ※4 遺言信託、遺産整理業務等の年間取扱件数  
 ※5 研修教育関連費用、奨学奨励金、ちゅうぎんオープンラボ活動費、研修受講時および出向時の人件費等の従業員に対する投資額